

令和5年度 亘理町いじめ問題再調査委員会
第7回委員会 会議録

- 開催日時 令和5年7月19日（水）午後2時30分
- 開催場所 亘理町役場 2階 大会議室
- 出席者
長谷川啓三委員長、鎌田健司副委員長、川端壮康委員、佐々木央委員、神春美委員
- 説明のために出席した者
久保昭裕総務班長

【公 開】

（久保班長）只今から、第7回の亘理町いじめ問題再調査委員会を開会致します。始めに長谷川委員長よりご挨拶を頂戴します。

（長谷川委員長）お世話様でございます。これからまた、今日は、ご存知のように、インタビューと言いますか。聴き取りの調査を致しますので、それを始めるのは、当然非公開ということになります。それまでは、適当なところまでお話しをしていいかと思いますが。今日は、佐々木委員に、今後の進め方も含めて、なんて言うんですか、見取り図、或いは、見取り図のようなものを示して頂くことになっていましたが、何か電車を1本乗り遅れたようで、あと20分程したらやってこられることかと思えます。少しそれまでの間、委員の間で何かお話しできることがあれば、お話しただければというふう思います。

私自身で言いますと、私関わりました問題ですね。自死をされた子どもさんの問題で、提言を出すわけですよ。提言を出しても、それが要するにやられているかどうかというところ、それから提言の中身をより具体的にするような作業どうしてもいるので、それを県内の宮城県内の、研究機関とご一緒にやっていただくような引き継のところまで、僕やっていたんですけどね。なんかその関連のものが、報告がちょこちょこ出てくる、出てこないの、辺りのようでございます。

私個人は、こういう問題については、なんて言いますか。事実関係を明らかにすると同時に、残された私たちが、同じようなお子さんに工夫をするというものを、具体的な提言ができるまでやるべきだと思っはいるんです。

ただ、委員会の性質ってありますから。どこまでできるか分かりません。そのようなことを考えて、これにも望んでおるんですが。どこまでできますでしょうか。委員の

先生方というか、感じられるようなことはございますか。はい。

(神委員) いや、佐々木さんが、見えないから、ちょっと時間つなぎの質問を。

この前新聞に、切り抜きの件が出たけど、なんかその巨理の事案で、黒塗りで云々ってというのが、これはその後、どうかなったっていう。聞き方は変ですけど、どういう経緯で、その後どういう風になったかっていうのはお分かりですか。

(久保班長) 今の問題に関連しまして、ご遺族の方から関連の資料の提供がございましたので、お話しと関連しますので、ご覧いただこうと思います。今お話しいただきました黒塗りの件ですね。

私どもの委員会の前身であります臨時委員会の方で、議事録をホームページ上に公開したところ、それをソフトに呼び込ませると、黒塗りの隠れている部分の名前までが読み取れてしまうということで、閲覧した方が情報を分かってしまうという状態になっていたということがございました。

そちらの方はですね、教育委員会の方から町長の方に報告がありまして。

まずは、その実名が出された方、個人皆さん全員に謝罪するべきじゃないだろうかということで、話になりまして。今教育委員会の方と、まずは個人に対する謝罪の方ですね。そちら今進めているというところで、教育委員会の方から説明を受けているような状況でございます。

(神委員) 今は見られるんですか。

(久保班長) 今は見られないようになっております。

(神委員) でも12日月曜日に、再度ホームページで公開したとなっているから、あっ違うのか。

(久保班長) そうです。令和4年ですね。昨年ですね。

(神委員) そっか。失礼、日にち間違いました。

(久保班長) 指摘があって、すぐ公開を停止して、その後、適切な処理をした上で、再度公開したと。

私どもの調査委員会が始まってからは、前の臨時委員会の情報は見られないように

なっております。

(神委員) これ参考までに、別にいちゃもんつけるわけじゃないんだけど。参考までに。これ、去年の話。

(久保班長) そうですね。

(神委員) それで今話題になったのは。なんでかなって。

もう、時系列で見るとなんか終わっている話みたいに見えるけど、今取り上げられた理由は何かあったんですか。新聞でっていう意味だけど。

(久保班長) やはり去年の事例ではあったんですけど、その時に教育委員会が把握したにも関わらず、個人への説明などは全くなされてなかったようですし、謝罪もされてなかったということもこの取材によって明らかになった。

その時の対応が、ずさんだったというふうに、私どもも感じているところです。

(長谷川委員長) 取材というのは、TBCの、東北放送の取材。

(久保班長) 一番最初は、読売新聞さんです。

(長谷川委員長) 読売新聞。

(長谷川委員長) それでは、ヒアリングに来ていただいてよろしいですか。それまでに打ち合わせていくようなこと特にございませんか。神先生よろしいですか。

(神委員) はい。大丈夫です。

(長谷川委員長) それでは、これからヒアリングに入りますので、ここからは非公開とさせていただきますと思います。

報道、傍聴の方々は、ご退室を、ご協力をお願いいたします。会議終了10分後に報道機関に対する記者会見をこの場で行います。よろしくをお願いいたします。

【非 公 開】